



令和 8 年 (2026 年) 3 月 4 日 公表
 令和 7 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

ヒラメ (日本海中西部・東シナ海系群)

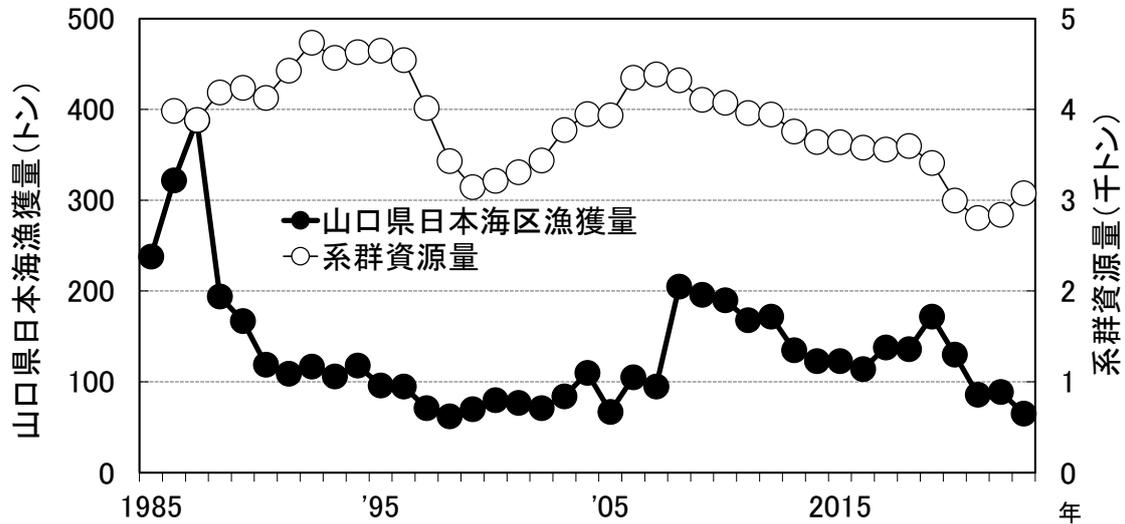


図 山口県日本海区ヒラメ漁獲量 (漁業・養殖業生産統計年報)及び日本海中西部・東シナ海系群ヒラメ資源量 ((国研)水産研究・教育機構資源評価報告書)の推移

【漁業】沿岸域で主に刺網、定置網、小型底びき網により漁獲されるほか、沖合底びき網でも漁獲される。近年、全長 35cm 以下 (1 歳魚以下) の水揚げが減少し、漁獲の主体は 2 歳魚以上になっている。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は 1987 年の 388 トンをピークとして 1988 年以降減少した。2008 年に 205 トンまで回復したが、その後 2016 年まで減少した。2017 年以降はやや増加したが、2019 年以降減少し、2023 年には 65 トンであった。

【資源状態】資源量は、1997 年までは 3.9~4.7 千トンであったが、1998 年~2002 年には 3.1~3.4 千トンで推移した。2003~2013 年はやや回復し 3.8~4.4 千トンであったが、その後は緩やかな減少傾向にあり、2024 年には 2.7 千トンと推定された。

2024 年の親魚量 (SB) は、目標管理基準値の代替値 (SBmsy proxy) を下回った。また、漁獲圧 (F) は、MSY proxy を実現する漁獲圧 (Fmsy proxy) を上回った。親魚量の動向は横ばいと判断された。

2024 年漁獲量 (トン)	MSY (トン)	2024 年親魚量 (トン)	目標管理基準値 (トン)	限界管理基準値 (トン)	禁漁水準 (トン)
770*	1,091	2,166	4,053	1,921	384

*暫定値